

総合戦略改訂に向けた意見の概要 (現行戦略への当てはめ)

1. 「清流の国ぎふ」を支える人づくり

(1) 未来を支える人

○オンライン教育の推進

- ・ハイブリッド教育システムの構築（発達段階に応じたオンラインと対面の適切な組み合わせ、ナラティブとIoT、AIのハイブリッド）
【森脇分科会長】【林委員】【古田委員】【松川委員】
- ・DXを活用した魅力ある教育の推進【安田委員】

○情報リテラシー教育の推進

- ・情報を適切に読み解く能力の習得（多様かつ信頼できる情報の選択）
【石原委員】【古田委員】

○リカレント教育の推進

- ・地域課題の発見や共有のための講座等の開催【林委員】
- ・デジタルデバイドの解消に向けたリカレント教育の推進【松川委員】

○衛生・保健教育の見直し

- ・衛生・保健教育の見直し（若者へのリスク情報、公衆衛生情報の届け方）
【石原委員】【武田委員】【松川委員】

○ふるさと教育の継続

- ・地域自慢のエピソード等を交えた「清流の国ぎふ」の魅力発信【林委員】

(2) 誰もが活躍できる社会

○デジタルデバイドの解消

- ・オンライン化によって生じる格差（ハード・ソフト両面）の解消（高齢者、障がい者、生活困窮世帯などにも配慮、誰一人取り残さない取組み）
【森脇分科会長】【安田委員】【小島委員】【松川委員】
- ・県民一人ひとりに届く情報発信（情報弱者への対応、ロールモデルの共有）【林委員】

○性差に関わらず活躍できる環境整備

- ・女性労働者への支援、ワークライフバランスの充実と男性の家庭活躍の推進（休校、在宅勤務による負担増）【安田委員】【武田委員】

○障がい者の活躍支援

- ・ ICT を活用したインクルーシブな社会の実現（障がい者のテレワーク支援等）

【岡本委員】

○若者の活躍支援

- ・ 若者の意見を施策に反映させる方策が必要（若者に問題を我が事として認識させ、積極的に関与させる必要がある）【松川委員】

○働き方改革の促進

- ・ 働き方改革の促進に向けた新たな会議体の設置【高田委員】【武田委員】

○外国人の安全・安心の確保

- ・ 外国人が安心して生活できる環境整備【安田委員、武田委員】

2. 健やかで安らかな地域づくり

(1) 健やかに暮らせる地域

○医療・介護の体制強化

- ・医療・保健体制の見直し（人的・物的／機動的・弾力的／在宅医療、居宅介護の強化）
【林委員】【石原委員】【安田委員】【武田委員】【上手委員】
- ・感染症対策の中核病院の指定、専用病床等の整備、専門人材の育成【上手委員】
- ・プライバシーに配慮した管理・監視システムの確立（感染経路や人流把握）
【村瀬委員】
- ・福祉施設等の事業継続支援（BCPの策定、各種マニュアルの策定、運営基準の柔軟な取扱い等）【岡本委員】【石原委員】
- ・医療福祉専門学校向けの支援（タブレット端末の活用研修、バーチャル臨床体験ソフトの開発等）【石原委員】
- ・介護人材の育成確保とネットワーク（医療・福祉・行政）の構築【石原委員】

○感染症対策の強化

- ・感染症に関する普及啓発（危機意識や理解不足、正確な情報提供、差別の撤廃）
【林委員】【櫻井委員】【岡本委員】【石原委員】
【小島委員】【古田委員】【高田委員】【松川委員】
- ・新たな感染症に対する公衆衛生、医療面への備え（障がい者等に配慮した衛生物品の優先配慮等）【岡本委員】【松川委員】
- ・地域に応じた感染症対策の実施（国と地方の役割が不明確）【岸野委員】
- ・感染を前提とした拡大防止策の実施（人流抑制の限界）【櫻井委員】
- ・近隣県との連携強化（広域的な対策の必要性）【岸野委員】
- ・患者の受入能力や宿泊療養施設等のデータ化と情報共有【上手委員】
- ・自宅療養時のサポート体制の構築（地域コミュニティの活用）【石原委員】
- ・エビデンスに基づく対策の実施（多様な意見や状況を分析する仕組みの構築）
【古田委員】
- ・海外の取り組みや成果、外国人受入れ状況などの情報収集と発信の強化【古田委員】

○DXによる医療・介護サービスの展開

- ・オンライン面会の実施（在宅と施設をつなげるアプリの活用）【石原委員】

○安心して子どもを産み育てられる環境整備

- ・結婚に向けた経済的支援【林委員】
- ・産前産後ケアの充実と母子保健と子育て支援、他機関を含めた連携強化【安田委員】

(2) 安らかに暮らせる地域

○孤独・孤立対策の推進

- ・相談窓口、アウトリーチ支援の充実（自殺予防、ヤングケアラー、ひとり親家庭、児童虐待、DV被害者等の顕在化）【林委員】【安田委員】【高田委員】
- ・リモートの標準化（人の繋がり希薄化）【石原委員】

○貧困対策の強化

- ・生活困窮者へのタイムリーな支援【高田委員】【武田委員】

○雇用・企業活動の維持

(支援の充実)

- ・非接触サービス提供への業態転換支援【林委員】
- ・「寄付付き商品」販売による経済支援
（寄付分は経済困窮家庭への奨学金や離職者支援金に活用）【石原委員】
- ・各業界（各産業）に応じた官民連携の産業振興策の実施【上手委員】
- ・各業界の組織体制の強化（行政支援や協力要請の迅速化）【上手委員】
- ・国内生産の回帰への支援【古田委員】

(雇用の維持)

- ・人手不足の業種と他業種（営業自粛中の業種）との人材マッチング支援
【櫻井委員】【石原委員】
- ・国への企業支援策拡充の要請（雇用調整助成金の拡充等）【高田委員】

(企業活動の活性化)

- ・姉妹都市間における県産品ネット販売の実施【石原委員】
- ・感染防止対策優良事業者（旅館、飲食店等）への利用促進策の実施【岸野委員】
- ・国内外の進歩的な企業等と、岐阜県の良さを活かした有機的なコラボの実現と人的システムの確立【古田委員】

(3) 誰もが暮らしやすい地域

○移住・定住の促進

- ・移住定住に向けた就業支援、奨学金、住宅建替え支援【石原委員】
- ・移住の促進に向けた仕事の創出（東京と遜色ない仕事と報酬）、県の魅力発信（子育てサービスの充実等）
【村瀬委員】【安田委員】
- ・ワーケーションやサテライトオフィスの環境整備【林委員】
- ・魅力ある大学の創造【松川委員】

○DXによる行政事務の効率化と利便性の向上

- ・デジタル化推進に向けた部局横断的な体制の整備【上手委員】
- ・DXを活用した民間企業との連携【上手委員】
- ・マイナンバーを活用した補助申請と交付の迅速化【村瀬委員】

○地域コミュニティの維持・強化

- ・地域活動を継続するための基準の明確化
(感染症対策を行いつつ地域コミュニティを保つ基準)【石原委員】
- ・地域コミュニティの在り方の見直し(自助、共助、公助の助け合いの視点の再構築)
【安田委員】
- ・地域の伝統行事や祭礼、スポーツイベントの開催【武田委員】

3. 地域にあふれる魅力と活力づくり

(1) 地域の魅力の創造・伝承・発信

○文化・芸術の新たな鑑賞スタイルの確立

- ・多様な鑑賞スタイルの推進（「リアル」と「オンライン」のハイブリッド展開）
【小島委員】
- ・発信と受信双方のハード・ソフト両面の環境整備（著作権相談窓口の整備等）
【小島委員】
- ・文化、芸術のオンライン配信（ライブ・アーカイブ）等の環境整備【小島委員】

○文化芸術活動への支援

- ・文化、芸術活動を支援する「メセナ」企業に対する支援制度の構築【林委員】
- ・文化芸術、スポーツ活動への支援（助成、入場料補助等）【小島委員】

○グリーン社会の実現

- ・再生可能エネルギーによる発電と活用の推進【林委員】
- ・脱炭素社会に向けた岐阜県の資源（水・森）を活用した施策の推進
【村瀬委員】【松川委員】
- ・県民や事業者等の脱炭素に向けた自発的な行動を後押しする施策の推進【村瀬委員】

(2) 次世代を見据えた産業の振興

○新たな旅のスタイルの確立

- ・時代にあった観光（サステイナブルツーリズム）の推進
【林委員】【岸野委員】【古田委員】
- ・岐阜県版GoToキャンペーンの創設【武田委員】
- ・感染症に強い安心安全な観光地としてのブランド確立【岸野委員】
- ・訪日客の受入体制の強化（国ごとの生活様式や考え方の差異が露呈）【安田委員】
- ・地域経済還元型の域内消費を可能とする働き方の推進（ワーケーションの推進、企業の福利厚生システムの構築）【古田委員】

○世界から認められる観光地づくり

- ・国際的な認証制度や自然を生かした観光地づくり【岸野委員】

○DXによる産業の振興

- ・セキュリティリスクへの対応（デジタル化を前提とした働き方の見直し）
【石原委員】

- ・ AI、IoT、RPA などの技術革新によるバリューチェーンの組替えと主要プレイヤーの交代【古田委員】

(3) 農林畜水産業の活性化

○地産地消の推進

- ・ オーガニックな地産地消の推進、第一次産業への方向転換【古田委員】
- ・ 食料安全保障（食料自給率向上）の観点から「地産地消県民運動」を展開（生産国における輸出制限）【櫻井委員】
- ・ 消費されるものを作る、マーケットインの意識で「地消地産」を進めることが重要【櫻井委員】

その他

- ・ 夢のあるサステナブルな社会の実現に向けた産官学共同による岐阜県ならではの新たな価値創造のイノベーションが必要【古田委員】
- ・ 委員からの意見を本気で実施に向かうことができる県行政としてのシステムイノベーションが必要【古田委員】
- ・ 社会生活全体での変化やその影響はポストコロナ時代も継続し、完全な形では元に戻らない。そのため、考え得るマイナスの側面を洗い出し、対処を急ぐ必要がある。【松川委員】
- ・ コロナの問題は進行形であることから、この段階で一定の結論を示し進めていくのは少し早い。【武田委員】
- ・ コロナ禍の状況に応じて、総合戦略も各作業段階で柔軟に、内容、スケジュールを修正するとともに、発表のタイミングにも留意する必要がある。【上手委員】
- ・ (コロナによりダメージを受け、) 強化以前に現状維持、再建というレベルの分野もある。現行総合戦略の表現に全て目を通して見直す必要がある。【上手委員】

(SDGsの推進)

- ・ 本当の意味でのSDGsの実践が必要（カタチや言葉だけではなく、エビデンスを持って）【古田委員】
- ・ SDGsと住み続けられるふるさとづくりの取組みの推進【松川委員】